

落札者の決定について（具体例による理解促進資料）

当入札は想定事業量をもとに複数単価の入札額から総額を算出し、落札者を決定します。
本書では、具体例を用いて、その仕組みを説明します。

（例）帯広市バス運行委託業務（〇〇課分）

【想定事業】

	日程	車種	配車地	到着地	運行予定時間	走行予定km	備考
1	6/1	大型	10:00 市役所	16:00 市役所	6 時間	150 km	十勝管内周遊・日帰り
2	6/3	大型	10:00 市役所	17:00 市役所	7 時間	180 km	//
3	6/4	中型	9:00 市役所	15:00 市役所	6 時間	100 km	//
4	6/15	小型	9:00 市役所	15:00 市役所	6 時間	100 km	//
5	7/1	大型	10:00 市役所	16:00 市役所	6 時間	170 km	//
大型 計					① 19 時間	② 500 km	—
中型 計					③ 6 時間	④ 100 km	—
小型 計					⑤ 6 時間	⑥ 100 km	—

※入札に当たっては、営業所～配車地及び到着地から営業所までの走行時間と走行距離、行程前後の点検に要する時間は計算しません。

この業務を、指名競争入札で A 社、B 社、C 社が下記の金額で入札した場合

A 社 入札額		
	時間当たり 単価	km 当たり 単価
大型	7,000 円	200 円
中型	5,000 円	150 円
小型	4,100 円	130 円

B 社 入札額		
	時間当たり 単価	km 当たり 単価
大型	6,000 円	170 円
中型	6,000 円	170 円
小型	5,000 円	150 円

C 社 入札額		
	時間当たり 単価	km 当たり 単価
大型	6,000 円	150 円
中型	4,800 円	130 円
小型	4,000 円	130 円

※（C 社）

入札した小型の時間当たり単価（4,000 円）が、平成 26 年 3 月 27 日付け北海道運輸局公示 127 号（令和 5 年 8 月 25 日一部改正・令和 5 年 8 月 25 日付け北海道運輸局公示第 46 号）において示された金額の下限額（4,030 円）を下回っているため、無効となります。

各車種の合計走行時間と合計走行距離（①～⑥）に入札単価を掛けた総額で落札者を決定します

【計算式】

大型バス 合計走行時間【①の部分】（19 時間）×入札単価（〇〇〇〇円）＋
 // 合計走行距離【②の部分】（500 km）×入札単価（〇〇〇円）＋
 中型バス 合計走行時間【③の部分】（6 時間）×入札単価（〇〇〇〇円）＋
 // 合計走行距離【④の部分】（100 km）×入札単価（〇〇〇円）＋
 小型バス 合計走行時間【⑤の部分】（6 時間）×入札単価（〇〇〇〇円）＋
 // 合計走行距離【⑥の部分】（100 km）×入札単価（〇〇〇円）

【この場合の合計値を計算すると…】

（A 社）

大型【時間】19 時間×7,000 円＝133,000 円
 // 【距離】500 km×200 円＝100,000 円
 中型【時間】6 時間×5,000 円＝30,000 円
 // 【距離】100 km×150 円＝15,000 円
 小型【時間】6 時間×4,100 円＝24,600 円
 // 【距離】100 km×130 円＝13,000 円
 合計 315,600 円

（B 社）

大型【時間】19 時間×6,000 円＝114,000 円
 // 【距離】500 km×170 円＝85,000 円
 中型【時間】6 時間×6,000 円＝36,000 円
 // 【距離】100 km×170 円＝17,000 円
 小型【時間】6 時間×5,000 円＝30,000 円
 // 【距離】100 km×150 円＝15,000 円
 合計 297,000 円

【結果】

A社	315,600 円
B社	297,000 円
C社	失格



この結果、総額が最も安いB社が落札者となります。
なお、契約は入札した単価での契約となります。

※このほか、すべての入札価格が予定価格以下となる必要があります。